

## 東海地区レベル向上活動

### 「もっといいクルマづくり」研修会を開催 ～ トヨタ交通安全センター 「モビリティ」 ～

協豊会東海地区は11月8日（金）、富士スピードウェイ内にあるトヨタ交通安全センター「モビリティ」において、東海地区のレベル向上活動「もっといいクルマづくり」の一環として研修会を開催した。

「モビリティ」の研修は、トヨタ自動車が1987年から展開している、それまで長年培ってきたドライビングのノウハウを安全運転に応用したプログラム「トヨタドライバーコミュニケーション」を発展させたもので、「走る、曲がる、止まる」の限界を体験するトレーニングを通じて、安全運転や安全運転の指導・管理などのレベルアップを図り、企業にとって莫大な社会的損失をもたらす大きなリスクとなる交通事故の撲滅はもちろん、保険料の減額、職場のモラルアップなど様々な効果が期待される。

当日は、東海地区幹事・総務委員の皆様多数が参加し、トヨタ車の最先端安全装置を駆使した安全運転研修会を、実走行を中心に実施した。

特に高速フルブレーキング時のABSの働き、低μ路面でのABS・VSCの連動機能、ブリクラッシュセーフティーシステムによる緊急停止など、真剣な運転操作体験の中に驚きと感嘆の声があがった。

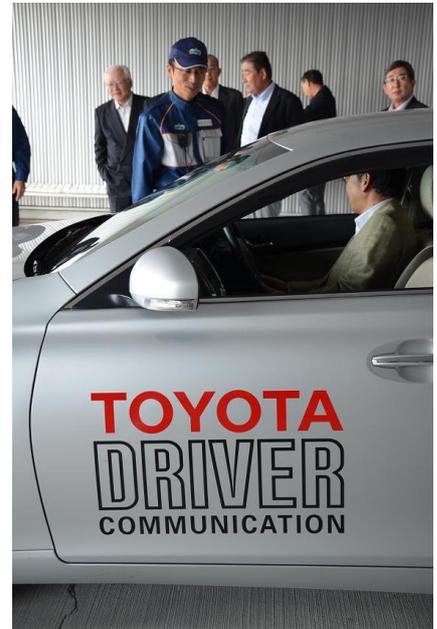




恒川副会長ご挨拶



神野チーフインストラクターによる講習



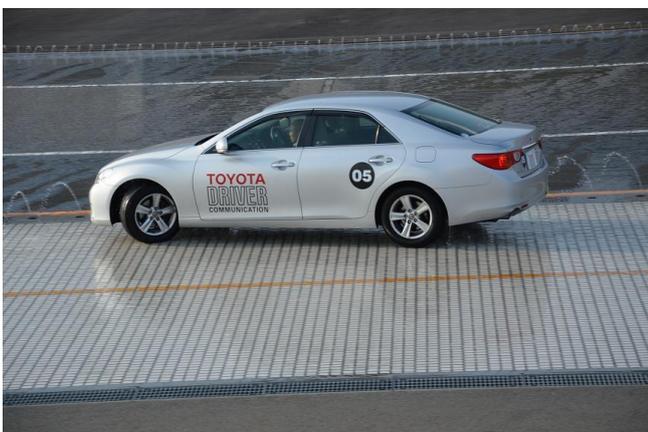
運転姿勢の確認



パイロンを並べて死角確認  
(運転席からどこまで見ることが出来るか?)



高速フルブレーキング体験  
(高速道路での緊急ブレーキを想定)



低 $\mu$ 路でのフルブレーキング体験  
(スリップするクルマの動き、ABS効果を体感)



低 $\mu$ 路での走行体験  
(VSCシステム効果を体感)



プリクラッシュセーフティシステムによる衝突回避体験



研修終了後の修了証授与式

「安全運転は挨拶から」をモットーに、「クルマの運転を通してクルマ・環境・人に興味を持ち、それぞれに気遣いができる人になってほしい」と情熱をもって語る、神野チーフインストラクターの想いをかみしめ、充実した一日を過ごした受講生一同「モビリティ」を後にして、帰途についた。